

枚方市日本語・多文化共生教室設置要綱

制定	平成24年 3 月 30 日	枚方市教育委員会要綱第 2 号
最終改正	令和 2 年 3 月 31 日	枚方市教育委員会要綱第 1 号

(目的)

第 1 条 日本語の習得を必要とする市民が、共に日本語を学習することを通じて、互いの文化を理解し、人権を尊重し合う社会の構築を進めるため、枚方市日本語・多文化共生教室（以下「教室」という。）を設置する。

(対象者)

第 2 条 教室に参加することができる者は、原則として、本市に在住し、在職し、又は在学している市民で、日本語の習得を必要とする者とする。

(開催場所・回数)

第 3 条 教室は、各生涯学習市民センター等において、それぞれ 1 年間130回程度開催する。

(指導員)

第 4 条 教室の運営を適正に行うため、各教室に日本語・多文化共生教室指導員（以下「指導員」という。）を置く。

2 指導員は、教育委員会が実施する指導員の養成講座を修了し、かつ教室の設置目的に賛同し、その推進に意欲のある者の中から教育委員会が依頼する。

3 指導員は、地方公務員法（昭和 25 年法律第 261 号）上の身分を有しない。

(報償金)

第 5 条 教育長は、指導員のうち教室の運営において調整事務を担当するものに対し、市長と協議の上、報償金を支払うことができる。

(庶務)

第 6 条 教室に関する庶務は、総合教育部教育政策課が担当する。

(補則)

第 7 条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

1 この要綱は、平成24年 4 月 1 日から施行する。

2 枚方市日本語・多文化共生教室設置要綱（平成20年枚方市教育委員会要綱第13号）は廃止する。

附 則 [令和 2 年 3 月 31 日枚方市教育委員会要綱第 1 号]

この要綱は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。